

川添研究室

[建築の可能性 - 企業による公共空間の可能性 -]

生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social System

建築設計・風景論

工学系研究科建築学専攻

<http://www.kwz.iis.u-tokyo.ac.jp>

我々の生活は多種多様な企業によって成り立っています。
新しい公共性言われて久しい今でもなお、その現状は変わっておらず、国家・NPO・企業など、
様々な主体によって成り立つ公共性の新しいスキームが求められています。

川添研究室では建築学の研究の一環として、
企業が持つ商業空間のオープンスペース (= 企業空間) に着目し、
企業が果たしうる公共性の可能性を探っています。

1. 概要

本研究は「企業の公共性」と題し、企業が果たしうる、かつ経済的メリットのある公共性概念を考えていくことを目的としています。

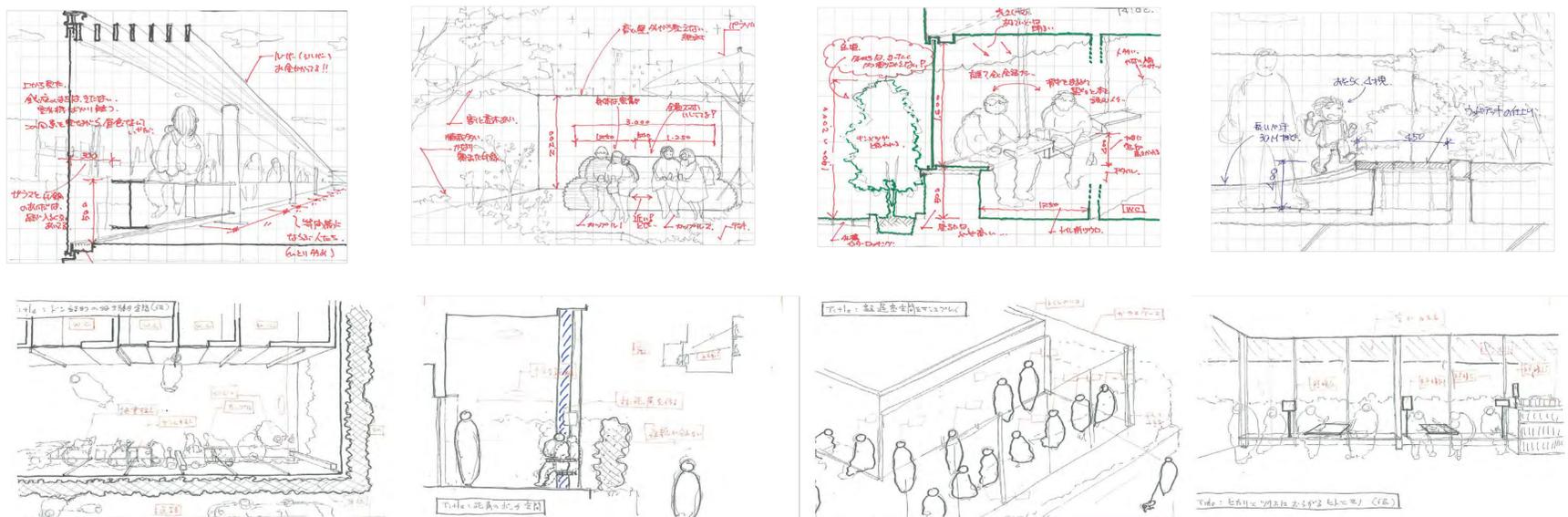
公共性にまつわる研究と議論は建築学だけでなく様々な専門に関わるものですが、本研究ではまずすでに存在する企業空間の分析から入ることで、従来の公共性研究へと接続していくことを試んでいます。

2. 各企業空間における人の「ふるまい」集

フードコート、映画館、蔦屋書店などの企業空間を現地調査し、各場所でどのような行為が行われているかを、各企業空間の設えと関連させながら収集・分析します。各行為は、建築空間（モノ）とコンテクスト（コト）からどのように影響を受けて発生したのかを読み解き、「ふるまい集」として提示します。

3. 理論・研究

公共論としては、ハンナ・アーレント、ハーバーマス、斎藤純一などの既存の公共性研究・論と、本研究の関係性を考察し、本研究が目指す公共性のスキームを提示します。空間論としては、商業建築がどのように発展してきたかを、公共性というキーワードで読み解き、今後の企業空間の在り方を模索します。



上記2. 「ふるまい集」例